

＜PISA調査、OECD調査から言えそうなこと＞

- PISA調査結果（OECD内1位）…読解力、情報活用能力が課題
- 複数の情報を選び、構成していくことが求められる。
- 自分で状況をつくり、自分の言葉で自分の考えを記述していくことが求められる。
- 学習者中心の学習とは、知識の獲得を学習者自身が行うこと。



＜次期学習指導要領改訂に向けて、審議のまとめから＞

・国語

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
イ 例字や目的に応じて、理由や事柄などを挙げながら筋道を立て、丁寧な言葉を用いるなど適切な言葉遣いで話すこと。	目的を示すことば、事柄を示すことば、筋道を示す方法、筋道を考える、状況を判断する	目的を明確化する、事柄を整理する、工夫するプロセス、工夫して話す

○内容の構造について（左図参照…左から右への構造となっている）生きて働く知識、未知の状況にも対応できる思考・判断・表現力が必要

○【知識】「～のために○○が必要、例えば～」

【思考・判断・表現力】

「知識を運用して、課題に即して書かれているのか、筋道を立てて書いているのか等見つけて」

【学びに向かう力】

「なんで○○なのか、もう少しこうしないといけないのかなあ」

○学びに向かう力は、意欲ではなく意思。この単元の学習でどのように改善されているか、メタ認知できるようにしていくことが大切。

・総合的な学習の時間

知識・技能	思考・判断・表現	学びに向かう力
課題を探究する中で必要な知識・技能	課題を探究する中で必要な知識・技能	課題を探究する中で必要な知識・技能

○各教科との関連を図るためのカリキュラム・マネジメントが大切。

○探究的な活動を位置づける→メタ認知、情報活用能力の育む

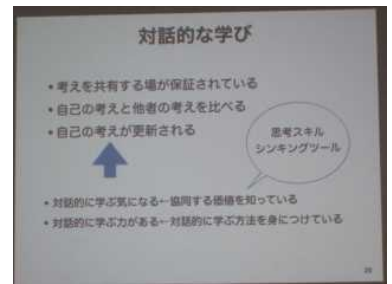
○全員が考えをもつ→主体的な学習、場を保障させることが大切。

○対話的な学び…考えを共有する、考えが更新される、他者と比べるなど

- ・他の人だけでなく、先哲の人とも学ぶことが大切。
- ・知識をいかにつなげていくことが求められる。（シンキングツール、反転学習等）

○見方・考え方=学習の重点化

- ・対象、視点、方向、思考

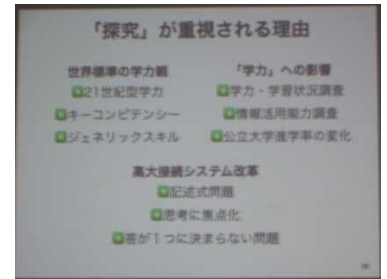


見方・考え方	イメージ
産業による見方・考え方	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方を観察して捉え、その関係性を問い直して理解すること。
社会的現象の地理的な見方・考え方	社会的現象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域課題の結び付きなどの地域という視点から捉え、人間の営みから捉えること。
社会的現象の歴史的な見方・考え方	社会的現象を、時間、変遷などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事実同士を因果関係などから捉え、その関係性を問い直して理解すること。
現代社会の見方・考え方	社会的現象を、政治、法、経済などに関する多様な視点（概念や価値観など）に着目して捉え、よりよい社会の実現に向けて、課題解決のための選択、判断に資する考えや理解などと関連付けること。
科学的な見方・考え方	現象を、因果関係やそれらの関係などに着目して捉え、論理的、統合的、発展的に捉えること。
理科の見方・考え方	自然の現象・現象を、質的、量的な関係や時間的、空間的な関係などの科学的な視点で捉え、比較したり、関係付けたりするなどの科学的に探究する方法を用いて捉えること。
経済的な見方・考え方	現象に対する可能性を捉え、質や量を、現象を形づけている要素とその働きなどの観点で捉え、自己のイメージや価値、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること。
造形的な見方・考え方	特性や想像力を捉え、対象や現象を、造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくり出すこと。
体育の見方・考え方	運動やスポーツを、その態度や特性に着目して、楽しみや喜びなどを含む体の上から捉え、その関係性を問い直して捉え、自己の適性などに応じて「する、やる、受ける」の多様な関わり方と関連付けること。
保健の見方・考え方	個人及び社会生活における健康や健康を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病やリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。
技術の見方・考え方	生活や社会における現象を、技術との関わりから捉え、社会からの要求、安全性、環境負荷や経済性等に着目して捉え、捉え直すこと。
生活の質に係る見方・考え方	娯楽や娯楽、衣食住、消費や環境などに係る生活現象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の観点で捉え、よりよい生活の実現のために工夫すること。
外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方	外国語で表現した内容を捉え、外国語の持つ背景にある文化を、社会や世界、書き手との関わりに着目して捉え、目的、機能、状況に応じて、適切な受け手となることを、捉え、捉え直すこと。
道徳における見方・考え方	様々な現象を道徳的価値観をもとに自己との関わりで捉え、多面的・多角的に捉え、自己の人間としての生き方について捉え直すこと。
探究的な見方・考え方	各教科等における見方・考え方を統合的に活用して、広範な現象を多様な角度から捉え、家社会や家庭生活の面や自己の生き方と関連付けて問い続けること。
集団や社会の形成者としての見方・考え方	各教科等における見方・考え方を統合的に活用して、集団や社会における現象を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現と関連付けること。

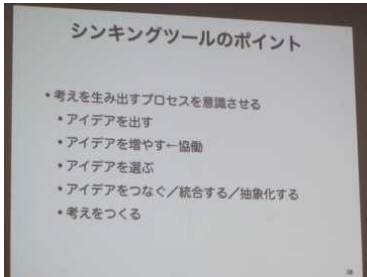
産業による見方・考え方	自分の思いや考えを深めるため、対象と言葉、言葉と言葉の関係を、言葉の意味、働き、使い方を観察して捉え、その関係性を問い直して理解すること。
社会的現象の地理的な見方・考え方	社会的現象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域課題の結び付きなどの地域という視点から捉え、人間の営みから捉えること。
社会的現象の歴史的な見方・考え方	社会的現象を、時間、変遷などに着目して捉え、類似や差異などを明確にし、事実同士を因果関係などから捉え、その関係性を問い直して理解すること。
現代社会の見方・考え方	社会的現象を、政治、法、経済などに関する多様な視点（概念や価値観など）に着目して捉え、よりよい社会の実現に向けて、課題解決のための選択、判断に資する考えや理解などと関連付けること。

生活の質に係る見方・考え方	娯楽や娯楽、衣食住、消費や環境などに係る生活現象を、協力・協働、健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等の観点で捉え、よりよい生活の実現のために工夫すること。
探究的な見方・考え方	各教科等における見方・考え方を統合的に活用して、広範な現象を多様な角度から捉え、家社会や家庭生活の面や自己の生き方と関連付けて問い続けること。
集団や社会の形成者としての見方・考え方	各教科等における見方・考え方を統合的に活用して、集団や社会における現象を捉え、よりよい人間関係の形成、よりよい集団生活の構築や社会への参画及び自己の実現と関連付けること。

○探究には、メタ認知が必要…よりよい答えをスパイラルに問い続けることが必要。



○シンキングツールに記入すること（書くこと）を目的としては、考えたことにはならない。



・「○○○と思う」まで表現できることがシンキングツールを活用していることである。

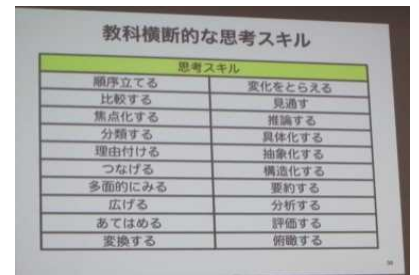
○シンキングツールは、考えをもって他者に説明するための道具である。

・（一人の）アイデア→（グループで）ふやす→（分類して）つなぐ→説明する

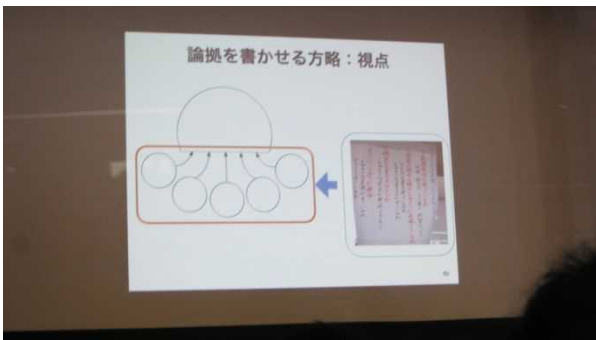
○思考スキルカード活用の事例紹介

（愛知県岡崎市立小豆坂小学校）

・思考スキルを使う練習時間を確保している。学校で活用する際に、考える目的によって同じスキルカードを活用するように統一している。



<シンキングツール活用の意義>



○論拠を考えさせる事例

・くらげチャートの足の部分に書かせることは、教科書、資料等のどこからいえるのか「比喩表現に着目して等の視点を与えることが大切。

・（例）比喩が2つ以上あるから、いい心情、情景であるといえる

○シンキングツールを活用した後、プロセスを説明させることが大切。

・何をどこに書くのかを知らせておく。例えば、子供たちにルーブリック（評価規準）を示しておく、どうやって説明すればよいか、どこに方向付けていけばよいかが見えてくる。

○（佐伯小について）子どもたちは字を書くスピードが速い…考えたことをすばやく書けることは、ICT（コンピューター等）が入ってきても大丈夫である。気軽にアイデアを出せる。共通化できる。考えるネタが増えてくる。→文章にする、発表できることにつながる…シンキングツールがなくても書くことができる子どもと同じ思考になる。

○（佐伯小学校は）他者を媒介としながら読みを深めていくことができていた。

○付箋に書かれている字が小さい。せっかく書いていることが全体場で共有する際に見えにくかった。

（対策として）コンパクトに表現するために、言いたいことを全部書かない、インデックスのようにして活用することも考えられる。

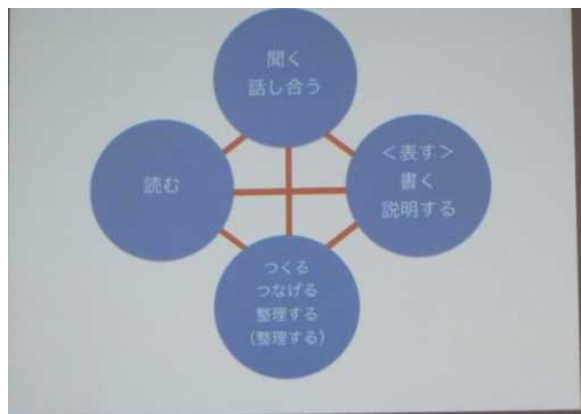
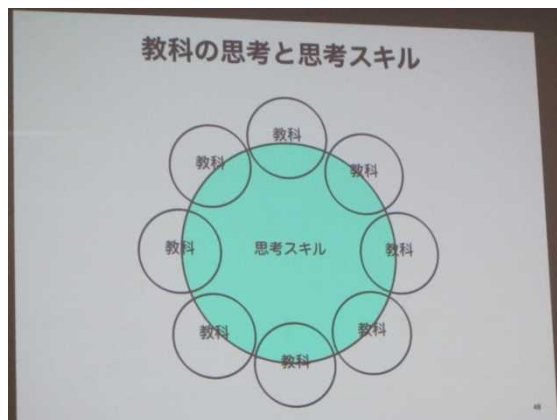
○（協議の際にでた質問）シンキングツールを活用した子どもの学びのプロセスをどうやって残していくか。

・残してもよいが見直す必要があるのか。考えを生み出す際のプロセスのための、計算用紙のような存在としてとして考える。

・結果として、考えることができればよい。その考えるプロセスやレベルを構造的に、論理的にすることができものがシンキングツールである。

○考えるための素材を置いてくれるものがシンキングツールである。考えるための手順として、教科でどのように活用するのか、指導事項を確認しながら、全校で認識していくことが大切。

→国語科だけでなく、他教科等でも指導計画を立てていくことが求められる。カリキュラム・マネジメントの視点が大切！



(文責 佐伯教育事務所 指導課)